

第99回宝生流能楽鑑賞会

日本伝統芸能

能楽鑑賞会

舞囃子

胡蝶

大坪喜美雄

狂言

昆布売

能村 晶人

能 忠 度

福岡 聡子

令和7年4月27日(日) 14:00開演(13:30開場)

ハピリンホール能舞台 福井市にぎわい交流施設

(JR福井駅西口「ハピリン」3階 福井市中央1丁目2-1 TEL 0776-20-2901)

前受入場券 4,000円・当日入場券 5,000円(前受入場券をご希望の方は、事前の申込みが必要です。)

申込みは事務局 (TEL 0776-24-7851) に問合せいただくかホームページをご覧ください。

主催 宝生流福井能楽会 後援 福井市 福井新聞社

能組

演目解説

舞離子

胡蝶

大坪喜美雄

大鼓 飯嶋六之佐
小鼓 住駒 俊介
太鼓 麦谷 暁夫
江野 泉

地謡 島村 明宏
佐野 由於
弘宜

狂言

昆布売

シテ 能村 晶人

アド 炭 哲男

後見 中尾 史生

休憩十分

能

シテ 福岡 聡子

忠度

ワキ 北島 公之

ワキツレ 渡貫 多聞

間 中尾 史生

大鼓 飯嶋六之佐
小鼓 住駒 俊介

笛 江野 泉

後見 大坪喜美雄
島村 明宏
川島 英治

地謡 沢崎 嘉一
谷 清士
鈴木 重寛
芦田 嘉和
藪 佐野
渡邊 由於
佐野 茂人
弘宜 克徳

能 忠度 (ただのり)

藤原俊成の没後、その家人の一人が出家し西国行脚に出掛けます。須磨の浦である一本の桜の木に向向けをする老人に出会います。僧が一夜の宿を乞うと、老人はこの花の陰に勝る宿はあるまいと言い、「行き暮れて木の下陰を宿とせば・・・」と詠んだ平忠度がここに埋められていることも語り、僧に弔いを頼みます。そして実は自分こそがその忠度であることをほめかし、姿を消します。

その夜、花影に仮寝する僧の夢の中に甲冑姿の忠度が現れ、自詠の歌が「千載集」に入選したが、朝敵のため読み人知らずと記され遺憾に思っており、これを俊成の子定家に伝え作者名を明らかにしてほしいと訴えます。そして出陣の折、俊成に自分の歌集を託したこと、一の谷で岡部六弥太に討たれた有様を詳しく再現して見せ、回向を頼むと桜の木の根元へ消えて行きます。(宝生の能より)

狂言 昆布売 (こぶうり)

武士の何某は外出するのに今日に限って供がないので、適当な者がいたら供をさせようと往来で待つ。通りかかった若狭の小浜の召し(献上)の昆布を売り歩く男に声をかけ、いやがるのを無理に太刀持ちにさせる。怒った昆布売は何某を油断させてから太刀を抜いておどし、腰の小刀を取り上げ、「昆布召させ昆布召させ」と昆布を売らせる。昆布の売り声を平家節、小歌節、踊り節といろいろな変えてなぶり、太刀と小刀を持ち逃げする。

(能・狂言事典)

※場内での撮影・録音・録画は固くお断り致します。

申込、公演案内

宝生流福井能楽会 事務局 天野和彦
福井市三郎丸2-908 TEL/FAX 0776-24-7851

【宝生流福井能楽会のホームページ】
<http://www.mitene.or.jp/~y-sato>

福井能楽会



HP

会場案内図

